

卒業論文・修士論文・博士論文題目一覧、会告

〈卒業論文〉

- | | |
|-------|--------------------------------|
| 岩田 恭明 | 音楽の戦争責任論とその変遷 |
| 柴田 桂佑 | 学校教練の立案過程について―陸軍省と文部省との関係を中心に― |
| 高瀬 滋輝 | 明治初期の漢方存続運動 |
| 藤 雅枝 | 東京音楽学校の男女共学成立過程に関する一考察 |
| 富谷竜一郎 | 明治初年の華族の結集と岩倉具視―華族会館建設に至るまで― |
| 宮野 健司 | 「都」としての福原の考察 |
| 吉岡 静良 | 陰陽師の展開とその背景 |
| 家保 咲希 | 日本古代の采女制度について |
| 岩上 佳世 | 禅僧参学の間としての足利学校 |
| 小田切悠紀 | 中近世移行期の都鄙交流について―道正庵の成立を通じて― |
| 小林 慧 | 京都市公同組合の成立と変遷―大札を軸として |
| 下東 直矢 | 戦国時代の茶道が作る政治ネットワーク |
| 白石乃里子 | 織田政権期大和の権力構造 |
| 多田 大志 | 明治十年代前半の侍補グループ―佐々木高行の思想を中心に― |
| 田中 一成 | 日本陸軍の精神教育―大正期の精神教育を中心に |

中根 真依

北海道品川宿の旅籠屋と飯盛女

西原 和弘

南北朝正閏問題における国体擁護団の思想と活動

林 奈緒子

律令体制の再編と平安京の都市計画―「官衙町」をめぐる―

松野 顕

中世畿内の農民と土地

宮岡 遼

「旧弁護士法」及び「法律事務取扱ノ取締ニ関スル法律」制定までの地方農村における非弁護士的サービスのついて―小繋事件における小堀喜代七を題材に―

吉田ますみ

一九二〇年代における日本陸軍と対外情報収集

〈修士論文〉

池田 真歩

大都市における政治秩序の近代化―明治前期東京の代議制とその基盤―

神戸 航介

律令租税制度と古代国家構造

木下 竜馬

中世前期の公武祈祷所

佐々木政文

近代浄土真宗教団の変容と被差別部落の信仰―大正期・近畿地方の地域史との関わりを通して―

武内 美佳

古代貴族社会における橘氏―中下級貴族の氏の構造とその変容―

畑山 周平 中近世移行期の島津氏と「家臣団」
曾 寶滿 一九三〇～四〇年代の保田與重郎の言論に関する一
考察

〈博士論文〉（授与年月日が二〇一二年四月以降二〇一三年三月までの

もの、審査委員名を付記した）

甲（課程博士）

佐藤 雄介 近世の朝廷財政と江戸幕府

牧原成征（主査）・本郷恵子・吉田伸之・藤田党
・田中暁龍

小松 愛子

近世天台宗寺院の存立構造

牧原成征（主査）・吉田伸之・伊藤毅・西坂靖・
朴澤直秀

蔡 蕙光

戦前期台湾総督府による南清・華南における学校の
運営―東亜書院・旭瀛書院・東瀛学校を中心に―
野島（加藤）陽子（主査）・鈴木淳・牧原成征・
吉澤誠一郎・冢近亮子

湯川 文彦

明治初期における行政事務の形成―官民共治の構想
と展開―

鈴木淳（主査）・野島（加藤）陽子・三谷博・西
川誠・松澤裕作

会告

二〇一三年三月刊行の『東京大学日本史学研究室紀要』第一七号に
掲載された朴完氏の論文「大正七年帝国防方針に関する小論―その
改定過程及び内閣保存過程を中心に」につきまして、朴完氏から以下
のような謝罪文が寄せられました。ここに同文を掲載いたしますと
もに、本論文の編集にあたった編集担当からも、政策研究大学院大学
北岡伸一教授にお詫び申し上げる次第です。 文責 加藤陽子

前号に掲載された「大正七年帝国防方針に関する小論」における
先行研究への言及にあたって、本来は、大正七年の帝国防方針の内
容とその画期性について初めて明らかにされた北岡伸一教授の著作
『日本陸軍の大陸政策』（東京大学出版会、一九七八年）について、正
当になされるべき言及を怠ったことは、当方の重大な過失であり、こ
こに北岡伸一教授に深くお詫び申し上げます。 朴完